

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（1組：石谷）（2組：鈴木（葉））（3組：鈴木（葉））（4組：石井）（5組：石井）（6組：石谷）（7組：石井）（8組：鈴木（葉））

使用教科書：（言語文化（数研出版））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	単元 古文入門 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開を的確に捉える。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を理解し、学習の見通しをもって調べ、他者に説明する。	児のそら寝 ・歴史的仮名遣いや文語のきまり、古文単語 ・動詞の活用に関する文法事項 ・現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさ				・歴史的仮名遣いや文語のきまりを理解している。 ・動詞を中心とした文法事項を理解している。 ・古文単語や文法事項を把握し、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈することができる。 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝えようとしている。				8
	単元 漢文入門 【知識及び技能】 漢文を訓読するための基礎知識を習得する。訓読のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。故事成語などの内容を理解し、ものの見方や考え方を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解する。	訓読に親しむ・漁夫之利 ・返り点の使い方、助字、再読文字など訓読の基礎知識 ・故事成語の内容理解				・漢文を訓読するための基礎知識を習得している。 ・故事成語や格言などの内容を理解し、自らその意味を表現できている。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。				8
	定期考査									1
	単元 随筆 【知識及び技能】 語句の量を増やして語彙を豊かにし、主として品詞の種類や用言の活用、文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆に登場する人物の言動を読み取り、内容や展開を的確に捉える。作品に表れている兼好のものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 随筆を読み、叙述に基づいて筆者の考え方を捉え、自分の考え方を深める。	ある人、弓射ることを習ふに ・品詞分解、古文単語や用言の活用・文語のきまり ・内容や展開、作品に表れているものの見方や考え方 ・作品が書かれた時代背景や作者の人物像				・本文中で使用されている用言の活用を理解している。 ・登場人物の言動を読み取り、内容や展開を的確に捉えることができる。 ・作品の内容を把握し、兼好のものの見方や考え方を捉え、理解することができる。 ・作品の解釈をふまえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。				7

2 学 期	単元 故事成語 【知識及び技能】 作品の歴史的・文化的背景を理解する。訓読のきまりを理解する。故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。	狐借虎威 ・句法、訓読の方法、書下し文 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながり ・内容や展開、作品に表れているものの見方や考え方	○	○	・本文中の句法を理解し、現代語訳をしたり、他の文にも応用できている。 ・正しく訓読し、書き下し文を書くことができる。 ・故事成語の話の内容を解釈し、現代の言葉とのつながりを理解している。 ・故事成語の由来となった話を読み、積極的にわかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	7
	単元 小説 【知識及び技能】 常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。比喩などの修辭を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理や下人の心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 内容の解釈を踏まえて、登場人物や主題について説明したり書いたりする。	羅生門（芥川龍之介） ・語彙や比喩などの修辭 ・下人の行動や心理、場面の展開、老婆の語る論理の読み取り ・自分の意見や考えの論述	○	○	・本文中に使われている語彙や比喩を理解している。 ・場面の展開を捉え、登場人物の心情を捉えることができる。 ・老婆の論理を理解し、下人の心情や行動を分析することができる。 ・内容の解釈を踏まえて、下人の行為を評価し、説明することができる。 ・内容や主題について、表現を工夫してまとめることができる。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
	単元 歌物語 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。作品の歴史的・文化的背景を理解する。用言や助動詞の活用、文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って異なるテキストと読み比べ、わかったことを積極的に伝え合う。	伊勢物語 ・古文単語や用言・助動詞の活用・文語のきまり ・歌物語の特徴 ・和歌の修辭や歌物語における和歌の効用 ・『大和物語』の同話との読み比べ	○	○	・古文単語や用言・助動詞の活用・文語のきまりを正確に理解している。 ・和歌の修辭や歌物語の特徴の読み方を理解している。 ・内容や展開を把握し、作品に表れているものの見方や考え方を捉えている。 ・異なるテキストと読み比べ、解釈を深め、わかったことを説明することができる。	○	○	○	8
2 学 期	単元 史伝 【知識及び技能】 訓読のきまりを理解する。「先従隗始」の由来と現代の意味の違いを知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開を的確に捉える。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 たとえ話における論理を説明しようとしている。	先従隗始 ・句法、訓読の方法、書下し文 ・内容や展開、戦国時代を背景とした国の状況、郭隗が用いた論理の巧みさ ・たとえ話の効果	○	○	・本文中の句法を理解し、現代語訳をしたり、他の文にも応用できている。 ・正しく訓読し、書き下し文を書くことができる。 ・内容を解釈し、現代の言葉とのつながりを理解している。 ・時代背景を把握し、作者の論理を的確に理解することができる。 ・たとえ話を理解し、その主張することを積極的にまとめ、説明することができる。				8
	定期考査					○	○		1

	単元 小説 【知識及び技能】 常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情の読み取りや文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 本文を踏まえて、根拠を示してまとめたり、伝え合う。	舟を編む（三浦しをん） ・漢字や語彙、修辞 ・一つの言葉にまつわる二人の人間の心情の読み取り、内容や構成理解 ・思入れのある言葉の説明	○	○	・本文中で使用されている漢字や語彙を理解し、活用できている。 ・登場人物の心情や文章の内容・構成を理解することができている。 ・本文を積極的に読み取り、それを踏まえて自分にとって思入れのある言葉の意味を、根拠を示してまとめ、他者に伝えることができています。				8
	単元 随筆 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。作品の歴史的・文化的背景を理解する。用言や助動詞の活用、文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開を的確に捉える。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する 【学びに向かう力、人間性等】 本文中に表れた人物像や言動を読み取り、考えたことをまとめ、伝え合おうとしている。	枕草子 ・古文単語や用言・助動詞の活用・文語のきまり ・内容や展開、作品に表れているものの見方や考え方 ・自分の意見の論述、説明	○	○	・古文単語や用言・助動詞の活用・文語のきまりを正確に理解している。 ・随筆文学としての表現方法や執筆意図を読み解くことができています。 ・内容や展開を的確に捉え、作品に表れている宮廷文化を理解している。 ・執筆意図などについて、自分の考えを積極的にまとめ、他者に伝えることができています。	○	○	○	8
	単元 詩 【知識及び技能】 作品の歴史的・文化的背景を理解する。漢詩のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢詩を鑑賞し、古代中国の人々の思いを読み取る。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明する。	唐詩の世界 ・作品の歴史的・文化的背景 ・漢詩のきまり ・古代中国の人々が自然や人事に向けた思いの読み取り ・作品に表れているものの見方や考え方、内容解釈 ・同一作者の作品を読み比べ	○	○	・作品の歴史的・文化的背景を理解している。 ・漢詩のきまりを理解し、的確に内容を解釈することができている。 ・古代中国の人々のものの見方や考え方を捉え、内容を理解することができている。 ・漢詩を読み比べ、共通点や相違点をまとめ、他者に説明することができている。	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1
	単元 軍記物語 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。作品の歴史的・文化的背景を理解する。用言や助動詞の活用、文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開を的確に捉える。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する 【学びに向かう力、人間性等】 本文中に表れた人物像や言動を読み取り、考えたことをまとめ、伝え合おうとしている。	徒然草 ・古文単語や用言・助動詞の活用・文語のきまり ・内容や展開、作品に表れているものの見方や考え方 ・自分の意見の論述、説明	○	○	・古文単語や用言・助動詞の活用・文語のきまりを正確に理解している。 ・時代背景や軍記物語の特徴を読み方を理解している。 ・内容や展開を把握し、作品に表れているものの見方や考え方を捉えている。 ・文中に表れた無常観などについて自分の考えを積極的にまとめ、表現を工夫して他者に伝えることができています。	○	○	○	8
3 学 期	単元 論説 【知識及び技能】 訓読のきまりを理解する。比喩表現を用いた文章を読み、内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や展開を的確に捉える。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 たとえ話における論理を説明しようとしている。	雑説 ・句法、訓読の方法、書下し文 ・内容や展開、唐時代の官僚制度、韓愈が置かれた立場と思い ・たとえ話の効果	○	○	・本文中の句法を理解し、現代語訳をしたり、他の文にも応用できている。 ・正しく訓読し、書き下し文を書くことができています。 ・内容を解釈し、韓愈が訴えたいことを理解している。 ・時代背景を把握し、作者の比喩表現を的確に理解することができている。 ・比喩の内容を理解し、その主張することを積極的にまとめ、説明することができています。	○	○	○	7

	単元 小説 【知識及び技能】 常用漢字を文や文章の中で活用する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の心情の読み取りや文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を読んで自分の考えを深め、考えが伝わるように工夫してまとめる。	沖繩の手記から（田宮虎彦）	・漢字や語彙、修辞	・本文中で使用されている漢字や語彙を理解し、活用できている。	○	○	○	○	8
	定期考査								1
									合計
									105